

第24回 放医研公開講座

# 放射線と健康

2011年3月に発生した東京電力福島第1原子力発電所の事故は、世界に大きな衝撃を与えるとともに、国内においては放射線被ばくによる健康への影響を心配する声が多く上がりました。放射線医学総合研究所は、放射線と人との関係について総合的に研究を進める国内唯一の研究機関として、現地への専門家の派遣や電話による健康相談などを行ってきましたが、放射線科学分野の研究を推進していくことも放医研の重要な役割です。今回の公開講座では、今般の原子力災害をふり返ると共に、放射線防護に関する研究の他、放射線を応用した画像診断研究や世界最先端の放射線治療である重粒子線がん治療について最新の知見を紹介いたします。

2012年2月18日(土)  
13:30～16:55(開場12:30)

ニッショーホール

日本消防会館：東京都港区虎ノ門2丁目9番16号

- 東京メトロ銀座線 / 虎ノ門下車 2番・3番出口徒歩5分
- 東京メトロ日比谷線 / 神谷町下車 4番出口徒歩10分



## 原発事故と放医研の役割

明石真言 放射線医学総合研究所 理事

## 子どもに対する放射線の影響

～ 子どもを持つ専門家からのメッセージ ～

今岡達彦 放射線防護研究センター 発達期被ばく影響研究プログラム  
チームリーダー

## これからの放射線事故への「備え」

杉浦紳之 緊急被ばく医療研究センター長

## 生命活動を見る・知る・理解する

～ 分子イメージング ～

藤林康久 分子イメージング研究センター長

## 重粒子線がん治療

～ より短期間に、より優しく ～

辻 比呂志 重粒子医科学センター 融合治療診断研究プログラム  
プログラムリーダー

事前に参加申し込みをお願いします (WEBまたはFAXよりお申し込みください) ※ 定員になり次第  
締め切ります。

<http://www.nirs.go.jp> または FAX:043-206-4062 まで

主催：独立行政法人 放射線医学総合研究所

後援：文部科学省 (予定)

お問合せ：放射線医学総合研究所 広報課

TEL:043-206-3026 FAX:043-206-4062

E-mail: kouza@nirs.go.jp

